

こんにちは

-No.21-

山田たか子事務所  
TEL 395-4973

<秋津事務所>  
秋津町4-39-71

<青葉事務所>  
青葉町2-28-6



日本共産党 東村山市議会議員

山田たか子です

## 6月議会 初めての一般質問を行いました

### 質問「中学校給食の在り方の見直しを求めて」①

学校給食の根拠法ともいえる「学校給食法」。

東村山市の中学校給食に対する考え方に

疑問があることを質問しました。

昨年、私は共産党市議団と一緒に



「給食の選択制を良いとする見解ではない」

と、文部科学省の懇談において確認してきました。

現在のスクールランチを利用する生徒は49.2%。

約半分です。この5年間に於いて平成27年度の

59%をピークに年々下がり続けています。

平成(年度)	26年	27年	28年	29年	30年
全校平均喫食率(%)	54.9	59.0	55.2	52.1	49.2

#### ❖ スクールランチを利用しない生徒・保護者の声 ❖

- ♣ 冷たくて美味しくない。
- ♣ 美味しくないと感じたことがあるから利用しない。
- ♣ 生徒自身で計画的に事前予約をする必要があり、そうした事が不得意な子は利用できない。
- ♣ 小学校のようなアレルギー対応がなく、相談にものってもらえない状況では、利用できない。

このように、全員が「選択制」ではないのが実態です。

質問では、こうした切実な声を届けました。

保護者の方からは他にも、

「中学校も給食だと助かる！」そんな声を沢山伺います。

ところが同時に…「東村山は仕方ないでしょう？」と諦めの声も。市長は中学校給食で「保護者や中学生から強く改善を求められたことはない。」と言います。

私たちと一緒に、諦めずに皆さんの声を届けていきませんか？

～学校給食法～

「学校給食が児童生徒の心身の健全な発達を資する」とあり、この法を維持するための「学校給食実施基準」には「給食はすべての児童生徒に対し実施されるもの」とされています。



東村山市の見解

「学校や設置者(東村山市)側の理由により全ての児童生徒に提供しない、一部のみ提供する・しないとならないように規定されているもの」とのことです。



～山田たか子の質問への回答～  
全生徒対象にスクールランチ(注文制弁当)の説明を行い、生徒や保護者の意向も尊重し選択制としているので、全員が利用できる状態であるとの答弁でした。

皆さんの声が政治を動かします！



## 市議会報告 幼児教育・保育の無償化で負担軽減？

政府が進める10月からの幼児教育・保育の無償化に向け、保育所の利用者負担に関する条例の改正案が可決されました。その財源は消費税。

増税に合わせて急速的に進められていますが、まだ中身が確定せず、質疑への回答も「検討中」ばかり。特に大きな問題は、



**保育中の食事の「おかず代(4500円)」が、保護者の実費負担となる事です。**

その金額が現状の保育料よりも上回るような事があってはなりません。増税による「低所得者への負担軽減」と言いますが、保育料は収入に応じた段階ごとの金額となっており、低所得者へ一定の軽減がされています。それも無償化の対象は3～5歳児だけ。(0～2歳児の無償化対象は、住民税非課税世帯に限る)これで「無償化」と言えるのでしょうか。さらに、審議の中では

**「主食代(3000円)」も保護者負担となるかもしれない」という回答も。**

日本共産党市議団は、子育ての負担軽減は重要としながらも、このような未確定な状況での条例改正には賛成できないと、反対しました。



★認可外保育園に預ける場合は、「無償」ではなく、無償化の上限が「37,000円(3～5歳児)」とされています。保育の無償化で大きな恩恵を受けるのは高額所得者の方。元々保育料が軽減されている方にとっては、暮らしの中の消費税負担が大きくなるだけです。働きたくても保育園に入れずに働けない方との格差はますます広がります。お金の心配せずに子育てができる社会。増税に頼らない財源を、日本共産党は提案します。

希望すれば入れる保育園。

それこそが、今の保護者にとって一番切実な願いではないでしょうか。

## 東京選挙区・吉良よし子当選!

**全国では、野党共闘の10選挙区で勝利!**

年金、消費税、憲法などを争点に7月21日に行われた歴史的な参議員選挙では、吉良よし子候補が70万票を上回る支持を獲得して2期目の当選を果たしました。

「諦めずに声を上げれば、政治は必ず変えられる。」「十人十色の人生が大事にされる社会を目指して頑張りたい!」と吉良議員。

一方、自民・公明は、憲法改定発議に必要な3分の2の議席には届きませんでした。

**守ろう!平和と憲法 築こう!私たちの希望ある暮らしを**



東村山民報 2019年8月号外 山田たか子さんの活動を紹介します。

◇東村山民報社◇ 小松恭子 東村山市美住町1-2-5

❖日々の活動や日常の事を  
つぶやいています。  
ツイッターのQRコード→

